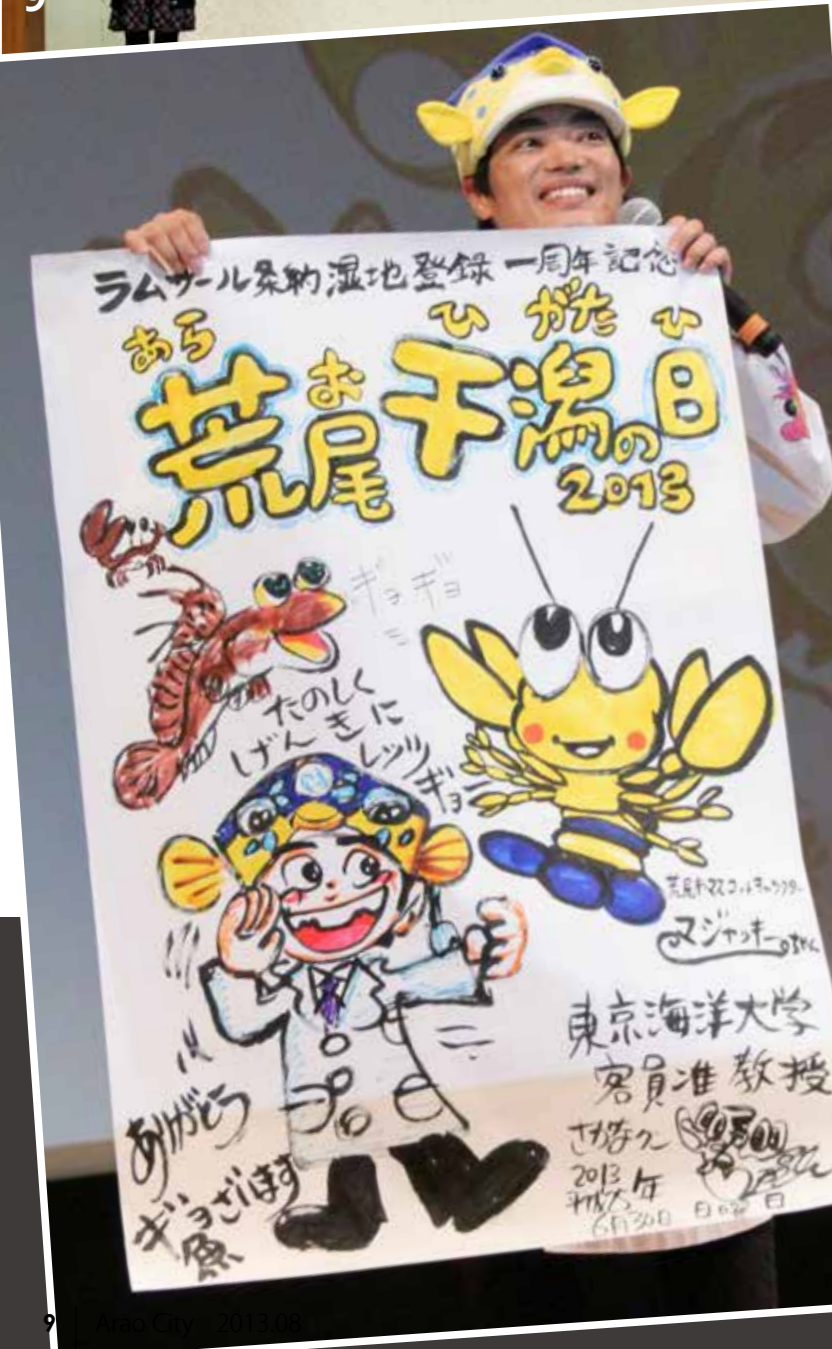


祝！ラムサール条約湿地登録一周年 7月3日は「荒尾干潟の日」

昨年の7月3日に荒尾干潟がラムサール条約湿地に登録されて1年が経ちました。荒尾干潟の豊かな環境を維持し、賢明な利活用をしていくため、この1年間、市民全員で様々な活動やPRに取り組んできました。荒尾市は、ラムサール条約湿地に登録された7月3日を「荒尾干潟の日」と定め、今後も「荒尾干潟の日」を中心に干潟の保全・利活用に励んでいきます。



1 環境省からラムサール条約登録決定の連絡を受け、前畑市長と荒尾干潟保全・賢明利活用協議会の矢野会長が、祝いのくすだまを割りました。2 「ラムサール条約登録記念式典」では、日本野鳥の会会長の柳生博さんが、野鳥の魅力や湿地の大切さを表現豊かに語ってくれました。3 コスモ石油とFM熊本の共催でクリーンキャンペーンが行われ、400人ほどの参加者が海岸清掃と探鳥会を楽しみました。4 日本野鳥の会主催で探鳥会が行われ、干潟で羽を休ませる渡り鳥を観察しました。5・9 子どもたちが湿地保全などを考える「KODOMO ラムサール」が名古屋で行われ、荒尾から荒木琴海さんと荒岡優花さんが参加しました。後日行われた「荒尾干潟のワズユースを考えるシンポジウム」では、荒岡さんが荒尾干潟について発表しました。6 「荒尾マジック釣り大会」は900人あまりの参加者で大いににぎわいました。7 熊本県自然環境講座が開かれ、市内外から多くの方が荒尾干潟を観察しました。8 デジタル写真コンクールが行われ、荒尾市から村中猶由規さんと高橋宏道さんが入賞しました。(写真は高橋さんの作品) 10・11 ラムサール条約湿地登録1周年を記念し「荒尾干潟の日2013」が開催され、環境省から「東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地ネットワーク」の認定証が授与されました。さかなクンも軽快なトークと得意のイラストで開場を盛り上げました。

世界の荒尾干潟を一緒に保全・利活用しませんか
洗剤を使わずに、油を流さないなど、だれでも環境保全に取り組めます。また、「エコパートナー」やお市民会議の自然保護活動、日本野鳥の会の探鳥会、地区協議会(荒尾・有明・清里)の活動など、団体の取り組みもあります。

- 登録から1年
主な活動など
- 2012年7月
・ラムサール条約湿地登録決定
・荒尾マジック釣り大会
・海の美術館(壁画制作)
 - 8月
・ラムサール条約登録記念式典
・くまもと・みんなの川と海づくりにデー(清掃活動)
 - 10月
・コスモ石油・FM熊本クリーンキャンペーン
 - 11月
・KODOMOラムサールに参加
・熊本県自然環境講座
 - 2013年1月
・日本野鳥の会 探鳥会
 - 2月
・荒尾干潟のワズユースを考えるシンポジウム
 - 4月
・荒尾干潟デジタル写真コンクール(表彰)
 - 6月
・日本野鳥の会 探鳥会
 - 環境美化の月(清掃活動・表彰)
・荒尾干潟の日2013 など

環境保全課 ☎ 63・1386